

沖縄県社保協ニュース



沖縄県社会保障推進協議会

会長 新垣安男 事務局長 高崎大史
那覇市古波蔵 4-10-53 健康企画ビル 3階
沖縄民医連内 098-833-3397 Mail:okisyaho@gmail.com

20200821

21期 No.1

《部内資料》

2020年度県社保協定期総会 初のオンライン総会に51名参加

沖縄県社保協 2020年度総会報告

- 日時 2020年8月15日 午後2時—3時15分
- 会場 6会場と自宅、団体事務所をつないでオンラインで開催
- 参加者 役員 代議員 オブザーバー 合計50名
- 発言 11本 団体から6本、地域社保協から5本
- 1400 議長と司会進行を兼ねて行うことへの了解をもらう 議長 比嘉次長
- 1401 開会挨拶 新垣安男会長



1405 議案説明 高崎事務局長

○ コロナ禍のもとでの社保課題

新型コロナウイルス感染症拡大は、これまでの先進国における経済効率優先の「新自由主義」「市場原理主義」の破綻を明瞭にした。これらの「改革」が社会保障予算を削減し、医療介護の人員や体制をぎりぎりまで削ったため、感染症拡大に対応できず、医療崩壊をもたらし、命の危険を広げた。

安倍政権は、当初、3月下旬まで五輪開催に執着したことや「新自由主義的」体質から抜けきらないこともあり、対応が遅れ、国民生活への支援も極めて不十分であった。

感染の拡大と世論と運動の突き上げもあって、小出しながら、支援策が拡大していった。

社会保障分野で言うと、当初、保険料との猶予にとどまっていた施策が、4月7日以降「減免」拡大へ進歩した。現段階における社保運動の課題は3つのレベルが考えられる

- ① 政府が世論におされ小出しにしてきた生活支援策を制度として確立し、運用を改善し、活用をすすめること、
- ② 多くの支援策が期限、対象、内容に枠がはめられている。期限延長、対象拡大、内容拡大をはかる
- ③ コロナ後の社会のあり方を示し、権利としての社会保障制度にふさわしい内容に大転換を迫る

多国籍企業など大企業の圧力で「経済効率優先」「利潤優先」でゆがめられ、「自己責任」「相互扶助」に変質させられた社会保障制度を、いのち優先、憲法25条実現、予算と体制を厚くした本物の社会保障制度へ飛躍をめざす。

～中略～

○ 7つの戦略を提案

- ① 学習運動の展開⇒通年で学習会の開催のニーズにこたえていく
- ② 地域組織の強化⇒キャラバンだけでなく、自治体陳情等もできるよう共同の結集を
- ③ 役員事務局体制の強化
- ④ 加盟団体の企画の交流と応援⇒主に情報交流をすすめます。オンラインのネットワークを強めます
- ⑤ 自治体要請・議会陳情の通年化⇒3・6・9・12月議会や地域課題へ支援します
- ⑥ 社保資料や理論の蓄積
- ⑦ 財政強化⇒コロナ後の社会激変など社保運動への期待は高まる 活動資金確保策を協議

本日一番重要な提案は自治体キャラバン 2020 の提案です

非常にやりにくい状況ですが、コロナの中での地域の困窮は深まっていますので、逆に自治体要請の意義は高まっています。人数を絞ったり、やり方は最後まで研究しますが、何とかして実行したいと考えています。そして、時期としても当初の提案から1か月のばして、結局昨年と同じ日程なのですが、議案書の通り10月26日スタート11月20日までで提起したいと思います。方法は、直前に代わるかもしれませんが、ぜひ知恵を寄せ合いたいと思います。

個別の課題の要求は、自治体キャラバンの要請書そのものです。各団体の知恵を借りてつくったものです。要請内容の修正があれば反映していきたいと思いますので、ご意見をいただきたいと思います

4番目は、体制、役員選出の案です。基本的には留任、継続をお願いしています。今季、変更は。沖商連から役割にふさわしい任務をとということで、副会長に神谷信夫さんを推薦します。

最後に財政ですが、これも6月の代表者会議で提案した暫定予算とかわっていません。

昨年度は約10万円の赤字となりました。情勢の厳しさと社保協への期待の高まりを反映して、全分野で各地域で通年の運動が始まっています。情勢に応じた運動のために活動資金の確保に努めたいと思います。

ただし今期は、コロナで全国会議が全部いけなくなりましたので、予算は達成できると思います。

最後に、日本社会はコロナの前から壊されていました。80年代からの新自由主義、市場原理主義は、自然を壊し、地域を壊し、家族を壊してきました。コロナで明白になりましたがこの路線に未来はありません。地球も人間も壊してしまうでしょう。急がないと気候変動も核戦争もウイルスも解決できなくなります。命と人権が優先される社会へ、平和と環境を守る社会へ、根本的な転換めざして力合わせてがんばっていきましょう。以上で、議案説明を終わります。ご清聴ありがとうございました。

1420 監査報告 当真嗣正さん(監事)

1423 県知事メッセージ紹介 松原勝也さん(沖縄協同病院)

1425 討議 3分×7団体

○新婦人 宮里節子さん「新婦人の取り組み」

3つの取り組み

①全国学力テストの沖縄県独自実施の中止を県教育委員会や那覇市などに要請しました

②7月11日女性県議の呼びかけで沖縄県民の命とくらしを守る連絡会 556 団体で発足

米軍によりコロナ感染拡大に抗議。県庁前で署名宣伝。日米地位協定の抜本改定、入管法など国内法を適用すること米軍野放しの安倍政権にも抗議しました

③コロナが教えてくれたこと。学校の大切さ。感染対策と教育の質向上、少人数学級要求へ

○那覇民主診療所 新垣司さん「国保資格証患者の受療権を守った取り組み」

国保の資格証患者さんに短期証交付を勝ち取った事例です

コロナで社会保障の力が求められる情勢なのに逆行する動きがありました

資格証の方でコロナで経済悪化で休業に、糖尿病の病状も悪化。足の切除の可能性も。

経済的にも精神的にも不安を抱えて相談に。資格証(10割負担)では診療継続が困難になるため、一緒に那覇市の国保課へ相談に行きました。「滞納半額納付か、緊急医療の証明を」求められ、すぐに保険証交付してもらえませんでした

7月31日、那覇市国保課に名医連として養成の場があったのでこの事例が、これまでの国会答弁(医療の必要性があれば、保険証交付)にも違反すると追及。翌週、那覇市国保課より患者さんへ謝罪と短期証を送付する旨連絡が入りました。今回、この方の受療権は守れたのですが、那覇市のルールが変更されたかどうかは不明です。すべての方の受療権を守るようローカルルールの改善の要請が必要です。



○沖商連 知念三四志「沖商連の取り組み」

コロナ関連で最初は観光や飲食の相談が多かったが、最近は全職種から相談がある
持続化給付金 1100 件 10 億円の相談解決した



コロナで減収世帯の国保の減免制度ができたが、県内の自治体の動きが遅く、5月25日と7月28日と2回、社保協と
合同で県国保課へ改善の要請に行った。周知徹底と郵送での申請を求めただ、直接面接での申請の自治体もあった。

コロナに負けないで元気に頑張っていこう。国保に傷病手当金がつくられたことは画期的。コロナでできた制度の期間
延長、内容改善が大事。傷病手当金も自営業者への拡大を求めたい。

○生健会 仲西常雄「コロナ禍での生活困窮者への支援強化」

生健会の取り組みと提案。厚労省は、4月7日と5月26日にコロナ関連で事務連絡「生活保護申請は速やかに処理を」
しかし、相変わらず1か月かかるよという対応している。末端まで周知徹底を要請。6月12日の国会答弁で安倍総
理も「ためらわずに申請を」といっている。憲法25条に基づく権利であること。沖縄県は日本一の貧困でありながら、制度
周知が弱い。わかりやすいパンフやリーフをつくることと周知をキャラバン要請項目に入れてほしい。

14日以内に決定ということがあいまいになっている。今年度は少し改善したが、14日以内52%。しかし100%である
べき。糸満市や那覇市は改善したが、県関係のほうが改善されない。

同行受診が介護保険からぬけている。要請項目にも追加してほしい。

○全日本年金者組合 安良城政俊さん「年金者組合の取り組み」(聞き取れず)



- ①消費税に頼らない「最低保障年金制度」を確立してください。
- ②「年金支給開始年齢」の引き上げは行わないでください。
- ③年金の支払いは「2ヶ月に1回」から「毎月支給」に改めてください。
- ④「マクロ経済スライド制」を廃止してください。
- ⑤加齢性難聴で補聴器を必要とする高齢者への助成を制度化してください。



○沖縄県労働組合総連合 穴井輝明さん

最低生活調査の実施。最低賃金改善へアピール。

コロナの第一波の時の諸団体の要請を国が実現せず、米軍基地からの感染拡大と困窮と医療ひっ迫
臨時国会を早急に開かせることが大事。



1450 地域社保協 1 分りレートーク

豊見城市⇒○平良さん 就学援助などまだまだ厳しい。キャラバン毎年改善されている

沖縄市⇒○山川恵吉さん コロナでの困難。消費税引き下げ。国保改善、傷病手当拡大などがんばりたい。

糸満市⇒○赤嶺守一さん 平田元県社保協事務局次長とも力合わせてがんばります

那覇市⇒○金城宏乃さん 昨年那覇市キャラバンでは40名が参加。盛り上がった

那覇市は国保資格証がダントツに多い。各団体の力も借りながら要請の継続も大事

浦添市⇒○比嘉直人さん 結成総会以降、会議を持っていない。無料低額診療事業を広げる取り組み



1500 討論のまとめ 高崎事務局長

全部で11本の発言がありました。発言は、総会方針を補強し深めるものでした
生健会などから出た自治体キャラバンの要請書の修正について反映させていきたい

1505 採択 方針、財政、役員体制、一括して○表明を
全会一致で採択されました

1510 新任役員挨拶 真栄城新事務局次長

先輩から話を聞きながらしっかり頑張りたい
神谷信夫新副会長
民商から初めて役員になりました八重瀬町の神谷です
よろしくお願いします



2020年 第21期 県社保協 役員体制

第21期 役員体制		
	氏名	所属団体
会長	新垣安男	民医連
副会長	仲里尚実	保険医協会
〃	大城郁男	医療生協
〃	穴井輝明	県労連
〃	瀬底律子	生健会
〃	高嶺朝広	民医連
〃	山里昌毅	年金者組合
〃	神谷信夫（新）	沖商連
事務局長	高崎大史	民医連
事務局次長	島袋聡（新）	医療生協
〃	新垣哲治（新）	沖縄協同病院
〃	真榮城玄次（新）	県医労連
〃	澤岨優子	沖教組那覇支部
〃	西銘耕史	保険医協会
監事	備瀬知允	沖商連
〃	当真嗣春	県生健会

本田宏先生の総会記念講演 100名超が視聴！

「コロナ後の社会のあり方を問う～医療福祉優先社会への展望」

パワポ資料 <https://xfs.jp/ST3LV>

講演 DVD 希望の方はご連絡ください(1000円以上のカンパをお願いします)

本田宏先生の著作「社会保障切り捨て日本への処方箋」改訂版 総会記念価格で1000円ちょうどで販売中、残り9冊となりました。

講演の感想が届きましたので紹介します

とてもわかりやすい講演でした。奈良県でも、医師数やベッド数を国の平均比較でしか示さず、不足していないと言っています。特に医療費削減のためコロナ前までは地域別診療報酬を1点10円⇒9円にとっていました。コロナで医療機関が赤字になったら今度はその穴埋めに10円⇒11円にするよう国に認めてほしいと言いつつ出しています。医療関係者からは反対の声が上がっています。沖縄の医療も大変な時に、タイムリーな企画でした。

日本の現在の医療の実態や新型コロナ対策で医師不足の問題点などわかりやすかった。また、若者の関心のある話と結合してわかりやすく話をすることが必要であるとのことはその通りだと思いました（建交労）

日本は急激な少子化に向かっている現実を踏まえた議論と具体的な行動が急務。医療福祉を語るには専門職の充実が必須であることを市町村長、県知事が結束して国にわからせる活動を立ち上げてはいかがでしょうか？